

鳴門中学校 鳴門市学園都市化構想

アクティブラーニング授業研究

鳴門中学校は、鳴門教育大学と「学園都市化構想」の実践研究を行っています。

今年度は、昨年度に続き、数学の授業をアクティブラーニング形式で実践しました。

生徒が主体的に、深く学ぶ学習活動を目指した2年生の授業を、鳴門教育大学の先生方に見ていただきました。

一次関数について、これまで学習してきたことを「式」「表」「グラフ」の三つの観点から関連付け、自分で考え、グループで話し合い、全体でまとめると、たくさんの関連がマップに表され、「蜘蛛の巣みたいにつながった！」と生徒のつぶやきが聞かれました。



一次関数の表、グラフ、式、説明が書かれたカードで神経衰弱。楽しみながらそのつながりを確認しました。授業を終えて、校長室で意見交換を行い、授業の工夫や改善についてご指導いただきました。これからよりよい授業の在り方を考えていく貴重な時間となりました。